

コンプライアンスと代理店賠償

兵庫県代協が特別セミナー

兵庫県代協(鈴木美恵子会長)は11月18日午後5時から、神戸市中央区の兵庫県私学会館で特別セミナー「コンプライアンスと保険代理店の賠償責任」を開催した。



講演する宮崎氏

講演に先立ち鈴木会長が「来年5月に保険業法改正を控え、コンプライアンスと代理店賠償の必要性を身近に感じるようになりました。代理店賠償に加入いただき、安心して仕事をさせていただきたい」と挨拶。同代協の日本代協新プラン(代理店賠償責任保険)の加入率は10月1日現在で85・1%と全国でもトップクラスの加入率となっている。

また、第2部代理店と法律上の責任では、不法行為責任、債務不履行責任、信義誠実の原則のいわゆる民事上の責任が代理店賠償責任保険の対象になることを解説。最後に判例や日本代協



千葉支部長(左)と甲斐支部長

新プランの支払事例などを紹介した。

神奈川代協湘南支部 献血推進で知事表彰

神奈川県下で献血事業の推進に貢献した企業や団体を表彰する「平成27年度神奈川県献血推進功労者知事表彰式」が11月16日、横浜市の日本赤十字社神奈川県支部で開か

ンスでは、コンプライアンスとは「代理店の信頼あるブランドを守っていく」と述べ、①損保代理店におけるコンプライアンス②損保代理店の法的位置づけ③損保代理店の権限と義務④保険募集の行為規制などについて説明した。その中で③では代理店には損害賠償義務があり、代理店賠償責任保険の加入が必要であると述べた。

れ、26の企業や団体が受賞したうち、保険業界からは神奈川代協湘南支部が選出された。

神奈川代協湘南支部の会員代理店や保険会社社員が10年以上、献血に協力していることなどが実績として認められた。表彰式には同代協湘南支部長の千葉康弘氏が出席。神奈川県保健福祉局生活衛生部長の甲斐康文氏から表彰状と記念品が贈られた。千葉氏は、支部で取り組んでいる献血活動について「こうした取り組みは地道にコツコツ続けることが何よりも大事。それが今回の表彰にもつながったのだと思う」と話した。